

## 義兄の本を翻訳 戦犯裁判見直す



文部省  
の逸見博  
昌・体育  
局長(五九)  
が翻訳し

た第二次大戦でのBC級戦犯裁判についての本が、出版された。著者は、横浜軍事法廷で、被告人らの通訳にあたった日系アメリカ人

で、同局長の義理の兄だ。

「BC級戦犯の本はあるが、裁判に焦点を当てたものはなかった。兄が法廷で感じたことを日本語で伝えなかった」という。日ごろからFEN(米極東軍放送網)を聴く英語通の局長だが、「翻訳は初めてのこと」。真珠湾攻撃から今年で半世紀。「兄は軍事裁判で見た戦争のもたらす不幸を訴えています」

## ゼミ25周年で 室内楽団編成



現代中  
国研究の  
第一人  
者、中嶋  
嶺雄・東

京外国語大学教授(五五)が主催するゼミナール二十五周年記念の集いが、東京・六本木の国際文化会館で開か

れた。当夜は評論家の粕谷一希氏、谷野・外務省アジア局長ら交遊のある人々がお祝いに駆けつけ、バイオリン愛好家でもある中嶋さんは子息や中国人留学生らと室内楽団を編成、モーツアルトやバッハの名曲を披露。「教員生活も早二十六年、二十世紀とともに退場していくことになりました」と感慨深げだった。